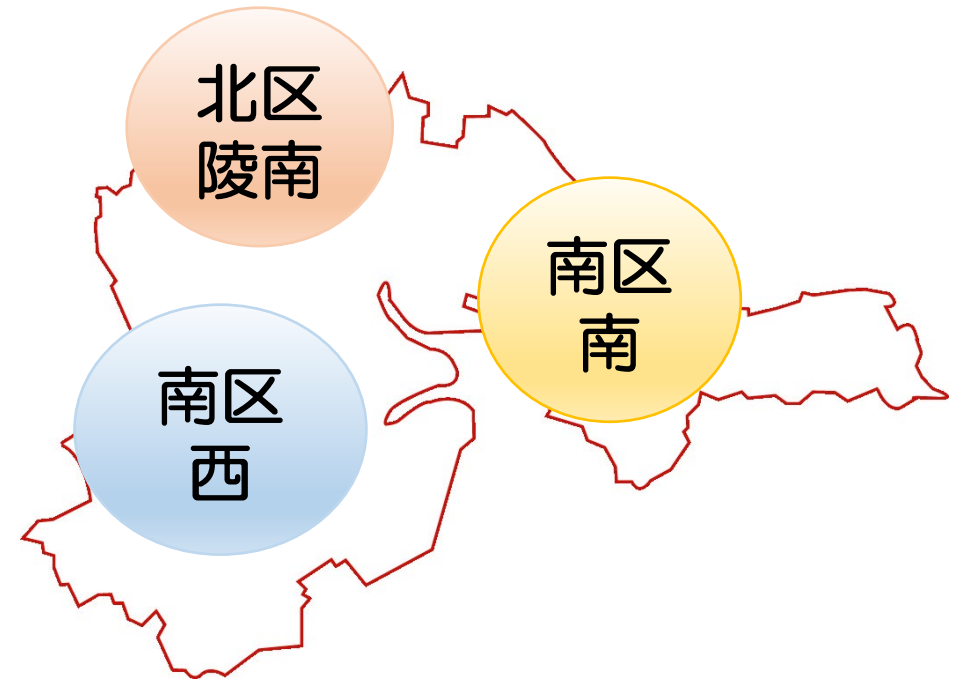


令和5年度 南西地域部会 活動報告



社会福祉法人浦安荘
支援センター・コンドル
主任相談支援専門員 前田 茂男

R6.6.27(木)

岡山市障害者自立支援協議会 全体会

令和5年度 部会運営について

① コア会議 ・ ・ ・ 相談支援機能強化事業所 + 岡山市児童発達支援センター

4事業所：4名

ひらた地域活動支援センター・岡山南障がい者相談支援センター
支援センターコンドル ・ わかくさ学園いちご

○開催：2回/年 <部会の年度計画に関する協議>

② 運営会議 ・ ・ ・ 相談支援機能強化事業所+岡山市児童発達支援センター

4事業所：8名

○開催：1回/月(第2金曜日) ＊定例会後開催：12回/年

南西エリアの相談支援体制を強化と継続した人材育成を担保

- ・ 事業所レビュー、ケースレビュー及びGSVの点検評価
- ・ 地域課題の抽出ツールの点検評価
- ・ 相談支援の質の向上につながる研修会の企画



南西地域部会の開催頻度と事業所数

○開催：毎月（第2・第4金曜日）合計24回開催

4/14、4/28、5/12、5/26、6/9、6/23、7/14、7/28、8/4、8/25、9/8、9/22、10/13、
10/27、11/10、11/24、12/8、12/22、1/12、1/26、2/9、2/16、3/10、3/22

＊日中サービス支援型GH3事業所の評価、部会研修会1回含む

○参加事業所：岡山市障害者基幹相談支援センター
南西エリア相談支援事業所24ヶ所
（＊北区・中区含む）

早島町 2ヶ所

玉野市 3ヶ所

計 30事業所

○場所：西ふれあいセンター等

令和5年度活動報告（土台となる取り組み）

①事業所レビュー・ケースレビューを基盤した地域課題の抽出：12回/年

GWで相談支援業務を振り返る。日常の疑問、困りごと、支給決定に関する要望、その他必要な情報や知識を共有し、相談員の気づきの中から地域課題の抽出として「問題」と「課題」の違いを意識した解決プロセス（問題認識・現状分析・課題の明確化等）を意識した。



（事業所レビュー：point）

4～5名のグループに機能強化事業所等がFTとして進行を担う。参加者が発言し易いよう事業所レビューの書式を新たに追加、地域課題についても様式を修正。

（ケースレビュー：point）

相談員が困り感を抱える事例をグループ内で共有し、そこで解決できるものと協議会専門部会とも共有が必要な事柄なのかを精査。また相談支援初任者等が自由に発言できるようツールとして統一書式を活用。

令和5年度活動報告（土台となる取り組み）

② 人材育成・質の向上のためのグループスーパービジョン（10回/年）

現任者研修の事例検討スタイルを踏襲。グループワークから抽出された事案に対し支持的環境の中で、複数の視点により業務を振り返り専門員の困り感の軽減や相談支援の質の向上に繋げた。

＊GSVの実施に伴い岡山市障害者基幹相談支援センターへFTに対したて特別講義を受けた

＊GSVの素材となる事例を参加輪番制に変更



③事業所支援活動（相談支援機能強化事業所との連動）（12回/年）

アウトリーチによる相談支援事業所への支援を相談支援機能強化事業所が実施。年度当初は限定エリア内であったものを、南西全域に広げ4つの小グループに区分けし、機能強化事業所が各事業所へ出向き現場の中でケースレビューとスーパービジョンを展開。各相談支援専門員の困りごとに向き合い・抱え込み・困り感を軽減し、相談支援事業所が相談員を増員できるよう人材育成に関する事業所支援を行った。

④ミ二研修会の実施

現場の声や事業所レビューから出た疑問に対し、知識と連携のための専門知識を深め専門員のスキルアップと図る。

開催日：R5年11月10日

場 所：ひらた旭川荘 ひらた講堂

参加者：35名

内 容：テーマ：相談員が知っておきたい訪問看護

- ・訪問看護の制度と役割
- ・訪問看護のしくみと利用方法について
- ・訪問看護との連携について

講 師：岡山訪問看護ステーション看護協会 訪問看護認定看護師 菅崎仁美様

身近な地域医療である「訪問看護」について文化や制度を理解し、今後の他機関連携の土台となる知識を高める機会になった。



⑤部会報告、情報共有・・・毎開催時

各専門部会の活動報告及び新規事業所紹介等をは毎月1回（第4金曜日）に固定化し情報共有、また地域部会と各専門部会双方の発信で地域課題の明確化。

令和5年度活動内容（柱となる取り組み）

① サビ管との連携強化（サビ管・相談支援専門員合同意見交換会：年2回開催）

開催：令和5年12月21日（第1回）

場所：ウエルポートなださき かしの木ホール

内容：自立支援協議会の活動報告

グループワーク：各事業所情報共有

「事業所が大切にしている取り組み」

参加：65名（内訳：相談29名・サビ管理等36名）

開催：令和6年3月11日（第2回）

場所：ウエルポートなださき かしの木ホール

内容：グループワーク：「相談支援専門員の視点を知ろう」

「サービス管理責任者の視点を知ろう」

サービス等利用計画と個別支援計画の連動

参加：59名（内訳：相談26名・サビ管理等33名）



令和5年度活動内容（柱となる取り組み）

② 地域移行支援事業への取り組み・・・南西WG（10回/年：開催）

4/25、5/23、6/27、8/22、9/26、10/24、11/28、12/26、2/27、3/25

南西地域に即した地域移行支援に関するシステムを構築するために、基幹相談、相談支援事業所で定例会を開催。

令和5年度が7年目になるが感染症対策期間の影響もあり医療機関との共同は縮小。一方で新たに特定相談・一般相談支援事業所や障害者入所施設が参画。また各地域での課題や今後の取り組みに必要な意見交換のため各地域部会WG合同会議（4回/年：6/20、9/11、11/12、2/28）を実施。

③ 地域生活支援拠点の有効的な活用（南西地域生活支援拠点運営連絡会）

緊急対応、体験利用、地域づくり、人材育成など総合的視点から複合課題の取り組み方を模索。面的整備を充実させ、誰もが困らない地域づくりを目指す。

④ 日中サービス支援型グループホームの評価（3回/年）

グループホームが地域に開かれたサービスとして根付き、質の確保を図る観点から、双方向の対話によって地域が望んでいる資源となるためのニーズや要望を届け適切な支援の向上に寄与できるよう努めた。

実施日：令和5年6月23日：おうちだ（＊倉敷市の相談支援も評価参画）

令和5年9月22日：みなん地域生活ホーム

令和6年2月16日：ソーシャルインクルーホーム岡山今保